

乳児期の顔面湿疹と短期ステロイド使用後に6か月で症状がほぼ消失した小児アトピーの経過 (2歳6か月 男児)

症例 ID：001-02-SK | 記録日：2014年1月12日

1. 診断・治療前経過

生後約3か月頃、耳前から顔全体へ湿疹が広がりました。ヒルドイドとロコイドの混合薬、白色ワセリン、オイラックスHなどを断続的に使用しましたが、赤み、腫れ、浸出液、落屑が続きました。

市販の保湿剤や食事制限も試しましたが、顔と首の症状は徐々に悪化し、2013年1月25日に治療を開始しました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	ヒルドイドとロコイドの混合薬、オイラックスHなどを使用しました。
製品名	ロコイド、オイラックスH。
強度	比較的弱い外用ステロイドを含みます。
使用期間	生後約3か月頃から約1か月半、断続的に使用しました。
中止時期	2013年1月中旬です。
来院前／後	来院前に使用歴があります。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
2012年12月	発症・外用開始	耳前の湿疹が顔全体へ広がり、ステロイド混合薬を使用しました。
2013年1月25日	治療開始	漢方入浴、外用処置を開始しました。
開始12～15日頃	症状の強い時期	顔と耳周囲の赤み、浸出液、強いかゆみが増し、1時間おきに目覚めました。
開始18～20日頃	変化	顔の滑らかな部分が増え、浸出部位が狭くなりました。
開始約3か月	体幹の軽減	体の発疹がほぼ出なくなり、外用は顔のみとなりました。
開始約5か月	治療縮小	発疹がほぼ出なくなり、漢方入浴と外用を中止しました。
開始約6か月	経過後	口周囲にまれな赤みが出ても、数時間で自然に消える状態となりました。

4. ピーク時期

ピークは、治療開始12～15日頃に顔と耳周囲の浸出液、赤み、強いかゆみが重なり、約1時間おきに目覚めていた時期です。

5. 困りごと

- 授乳期に夜間のかゆみが続き、親子とも睡眠が細切れになりました。
- 顔と耳周囲の浸出液、落屑、掻き傷への処置が必要でした。
- 遠方からの受診と毎日の入浴・外用処置を続けました。

6. 経過のまとめ

治療開始約3か月後には体の発疹がほぼなくなり、約5か月後には漢方入浴と外用を終了しました。

約6か月後には、まれに赤みが出ても数時間で消える状態となりました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。